

まちかど★ ネットワーク

お便りください

このコーナーは、皆さんの地域のお話をお届けしています。広報広聴課 ☎51-0123 内線2823へお便りください。

ことしは、いよいよ「こどもの国」が着工します。富士山南麓に、二百〇〇という国内で最も大きい規模です。昨年度が募集した「こどもの国」夢に、市内から千五百五十件の応募がありました。県知事賞を受賞した、郷亜矢子さんの作品を紹介します。

こどもの国「夢」

雄大な富士山のふもとの街富士市。しかし、私たちは今までこの恵まれた自然を十分に生かし切っていなかったような気がします。今回「こどもの国」が建設されることになり、今こそ富士市を公害の街としてではなく、自然環境の豊かな街として全国的に紹介するいい機会だと思いました。

「こどもの国」の基本テーマは「森、水、大地そして友、夢と感動を求め、のびやかに生きる！」だそうです。私は「何ですてきなテーマだろう」と思いました。そして、どうしたら夢のある魅力的な「こどもの国」にできるか、創造をめぐるしてみました。私だったらまず、「こどもの国」のシンボルとなる丸太でつくった大きな建物を建てます。建物は、「とりで」のような外観が富士のすそ野には似合うのではないでしょう。そして、「こどもの国」のシンボル・マークを一般から公募して旗をつくり「とりで」に掲げます。

次に森や川や岩場、それに小さな山やつり橋、トンネルなどをつくりアスレチックコースにし、それだけでは単純なので、ところどころチェックポイントを設けてオ



富士中学校一年 郷 亜矢子さん

リエンテールリングを加えます。各チェックポイントには「やぐら」を建て、「一の丸」「二の丸」と名づけます。「やぐら」は展望台の役目も果たすわけです。

アスレチックオリエンテールリングの周りにはサイクリングやローラースケートのコースをどうしてもつくりたいです。広々としたコースで車や人を気にしないで、走ったりすべったりしたらどんなに気持ちがいいでしょう。

いろいろ考えていると夢がどんどんふくらんで限りがありません。そのほかに、のんびり高原の草花を觀賞しながら森林浴もしたいし、バードウォッチングができるような環境づくりも必要だと思います。また、車いすや乳母車なども用意しなければならぬものの一つです。

最後に、「こどもの国」は富士山を背景にしたとき、いかにその風景に溶け込めるかを頭に入れて建設するべきだと思います。そして市民一人一人の、いいえ、全国のみんなの心をときめかすような「こどもの国」にしたいです。

*紙面の都合で、一部省略させていただきます。

吉田久雄さん一家の 話してみましよう

ポルトガル語で

(6)

成人式が終わわり、富士市では三千九百人が大人の仲間入りをしました。ブラジルには成人式はありませんが、選挙権の申請は十六歳からでき、車の免許証は十八歳で取得できます。

街と街の間が二十歳から百歳も離れているブラジルでは、車はもう必需品。タクシーや電車もないので、どこの家でもトラクターや乗用車など、二、三台は持っているのだそうです。また、車は日本と反対で右側を走ります。

ブラジルの道路は、法定速度八十キロ。国道は二車線とか三車線あるので、普通は百キロくらいで走り、追い越しもしよう。ところが、やっぱりレーダーで見ている警官に交通違反で捕まります。

警官は、黒いメガネに黒い皮ジャンパー、それに黒いブーツと黒づくめ。罰金は、スピード違反で日本の三倍くらい。しかし、警官はいろいろの小遣い銭を渡されると、すぐに勘弁してくれるそうです。

▶私はスピード違反で捕まりました。

Fui preso por alta Velocidade
(フーイ プレーゾ ポル アウタ
ヴェロシダーテ)

▶すみません。

Descupe me! (デスクーペ メ)

